

# 道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校  
校長室だより

## 「ほん じ てっ てい 凡 事 徹 底」

校庭の桜も散り始め、春深しの感が強まってきました。4月に入り、気温の変化が激しい日々が続いており、先週末は気温が上がりましたが、今週に入り“花冷え”で少し肌寒い気候です。自分自身の体調管理をしっかり行ってください。

6日の入学式で、45名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。そして、8日の始業式で6つの学年が顔をそろえ、学校にも活気が戻ってきました。今年一年、新しいクラスでの友人との出会いを大切に、素晴らしい仲間づくりをしてください。

始業式で話をしましたが、『**凡事徹底**』という言葉があります。**特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜く**という意味です。つまり、**物事を成し遂げるには、当たり前**のことを**当たり前**にできるか、**徹底してできるか**にかかっているということです。

松下電器（現パナソニック）の創業者である松下幸之助氏は、取引先の企業を訪問された時、経営がうまくいっているかどうかを瞬時に見抜かれたというエピソードがあります。それはいたってシンプルで、一つ目は従業員の**挨拶**、二つ目は**整理整頓**、三つ目は**トイレの掃除**です。挨拶を交わすことでコミュニケーションの輪が広がりますし、整理整頓をすることですがすがしい気持ちになります。また、トイレを美しくすることにより心が磨かれます。つまり、**当たり前のことが当たり前**にできているかで、店の経営がわかるというのです。

この「凡事徹底」は、学校生活を送るうえで大いに参考になる考え方です。平凡な事でも長い期間ずっと続けていくことで自分を成長させていくことができるのです。**「繰り返しやり続けること」が重要な**のです。

有名なイチロー選手の名言の中に「小さいことを積み重ねることが、とんでもない所にいくただ一つの道」というのがあります。毎日黙々とバットを振り続けた結果、大リーグという夢の舞台で世界中の人たちに注目され、私たちに感動を与え続けてくれています。続けることで極めた境地と言えるでしょう。「**誰にでもできることを誰にもできないほど続ける**」姿勢が望まれます。

私たちは日常の生活において、小さなことをおろそかにしがちですが、**誰にでもできる凡事を徹底してやり抜く姿勢が何よりも大切である**と思います。

特に心掛けて欲しいことは**＜アヒル＞**という言葉でまとめられます。（「道」第5号参照）  
**アは「あいさつをする」 ヒは「人の話を素直に聞く」 ルは「ルールを守る」**です。

4月6日に行われた入学式の式辞の抜粋を掲載しました。 [↓裏面をご覧ください。](#)

さて、新入生の皆さん、皆さんは中学受験という試練を乗り越え、晴れて大阪学芸中等教育学校の一員となりました。そして今日、22 期生としての第 1 歩を踏み出しました。

皆さんが、この学校でしっかりと学習し、6 年後の大学進学を目標におきながら、才能を伸ばし、充実した学校生活を送っていただくよう願っています。

皆さんを見ていると、緊張した表情ながら、さあ、これから頑張るぞという気持ちが身体から満ち溢れ、大変心強く思います。

この六年間は思春期の真っ只中、人生の中で、心も身体も最も伸び盛りの大切な時期です。これからの学校生活を有意義に過ごすために、心掛けて欲しいことを、二つ話したいと思います。

まず第一に、『思いやりの心を持ち行動する』ということです。

「自分のことをかけがえのない存在である」と自覚すると共に、いつも思いやりの心を持って、相手の立場に立って行動できる人になってください。本日、様々な小学校から 45 名のお友達が入学しております。皆さん一人一人それぞれに違いがあり、良さがあります。その違いや良さをお互いに認め合い、励まし合って、素晴らしい仲間づくりをしてください。

相手のことを考えずに、つい何気なく喋った言葉やしぐさ・行動が、相手を傷つける事があります。大切なことは「いじめをしない、させない、許さない」という強い気持ちを持って、皆さん一人一人が行動することです。常に何が正しいかを考え、判断して行動するように心掛けてください。皆さんが「春風のような温かい心」で人に接し、「冬のような厳しい心」で自分を反省することができる、心豊かな人間に成長することを願っています。

2 番目に、『夢や目標に向かい努力する』ということです。

学校生活で、一番大切なことは毎時間の授業に集中するという事です。各教科の学習はもちろん、学校は集団生活の場ですから、時間を守る、ルールやマナーを守るといった人間として望ましい生き方や生活態度の学習なども行います。

授業では、教科ごとに教えてくださる先生が変わります。一生懸命コツコツと勉強を積み上げていけば、大きな力となって、六年間で皆さんの身につくはずで、「継続は力なり」と言います。学力は、小さな積み重ねをどれくらい努力して実行できたかによるのです。ひたむきに努力することが、「生きる力」の基礎となり、六年後、自らの進路の実現に結びつきます。

南の温かい地域で育った樹木は締りがなく、木材としての評価は低いとされています。気温が高く雨の多い地域は、気が育つ条件として恵まれ過ぎているからです。一方、厳しい寒さの北国の樹木は、木が締り、良質の木材に成長します。

人も同様です。つらいこと、難しいことに出会ったら自分を鍛えるチャンスと前向きに考えてください。これからは、「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へと変わっていかねばなりません。授業でも家庭学習でも、与えられるのを待っていては前に進むことはできません。自分を甘やかさず、常に厳しく学び続ける姿勢が大切です。

以上 2 つ、思いやりの心を持ち行動すること、何事にもコツコツと努力すること、これらを確実に実行してくれることを願っています。

教育というのは、子どもたちの心に一杯、良い種をまいてあげ、将来立派な花を咲かせてあげることです。そして、素晴らしい花を咲かせるためには、「大きな声であいさつ」「時間を守る」などという基本的な生活習慣を身に付けさせると共に、心の中に「わがまま」や「自分勝手」という雑草が生えないようにしてあげることも大切です。私ども学校といたしましても保護者の皆様ときめ細かく連携を保ちながら、子どもたちの心を耕し、良い種をこの六年間で一杯まいてあげたいと思います。

どうか本校の教育推進にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。